



高度ビジュアル化による 化学実験教育

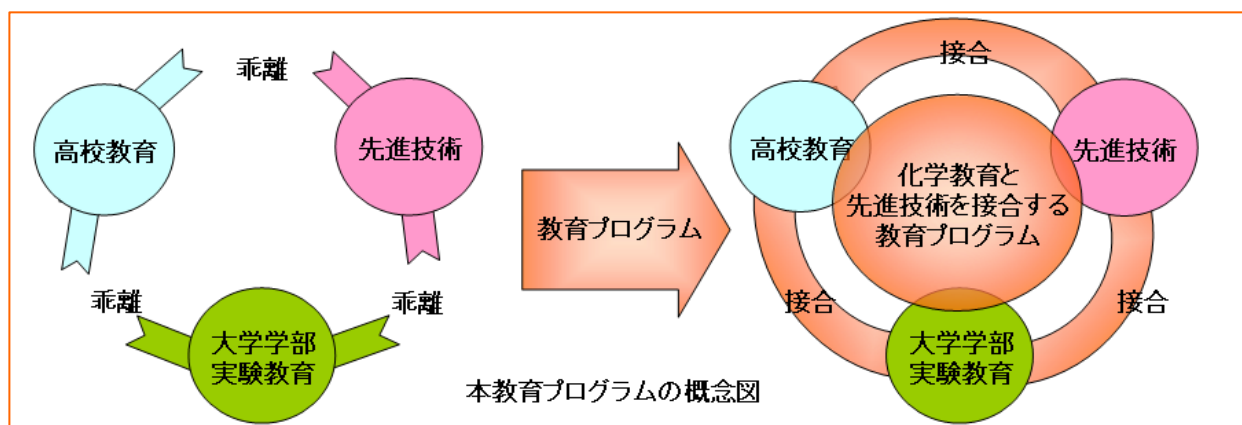
—化学教育と先端技術の乖離を接合する実験教育の実現—

平成20年度 文部科学省
「質の高い大学教育推進プログラム」教育GPに採択
～教育方法の工夫改善を主とする取組～

千葉大学工学部共生応用化学科
Chiba University

取組の概要

現代社会は、化学的に合成された数多くの物質や先端材料、化学に基礎を置く技術に支えられており、日常生活では、高度化された先進技術が身近なものになっています。それに伴い高等学校や大学学部での化学教育と現在の複雑・多様化した科学・技術の間のギャップが増大しています。本取組は、化学実験教育を介した化学教育と先進技術の乖離を接合するための教育プログラムです。基本技術を深く理解し、応用までの幅広い知識と高い教育効果が得られる教育方法の開発を目標として化学実験のビジュアル教材を開発し、「化学実験を補う体験型ビジュアル教材によるきめ細かな教育」、「微量化学物質の分析実験とビジュアル教材による高度教育」、「eラーニングによる分子デザイン教育」からなる3つの教育プログラムを実施します。本プログラムを実体験実験と併用することにより、基本教育から高度技術の習得までの高い教育効果を得ることができると確信しています。



詳細は工学部共生応用化学科のHPをご覧ください。(URL:<http://chem.tf.chiba-u.jp/>)

フォーラムのお知らせ

日時：2009年2月27日16:00より（18時30分より懇親会）

場所：千葉大学西千葉地区（千葉市稲毛区弥生町1-33）

工学部15号棟110番教室

講師

1. 千葉大学 融合科学研究科 山本和貫准教授
「パーソナル・デスク・ラボ (PDL) による物理実験教育の展開」
2. 山形大学 理学部 栗山恭直准教授
「高大連携による化学実験教育の展開」
3. 金沢大学 教育開発・支援センター 西山宣昭教授
「金沢大学におけるeラーニングの現状と化学実験教育への活用の試み」

フォーラム参加申し込み及びお問い合わせ先
工学部 共生応用化学科 坂本昌巳
(メールアドレス:sakamotom@faculty.chiba-u.jp)